



2019-2020 年度 国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー



濱崎剛自君の入会を歓迎します。楽しいロータリーライフを！

WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

国際ロータリー第 2720 地区

熊本南ロータリークラブ

週報

例会日：毎週月曜日 12:30~13:30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日（承認昭和 33 年 11 月 24 日）

会長：坂本研一 / 幹事 北口誠 / クラブ広報委員長 / 雑賀庸泰



第29回例会記録(通算第 2839 回)

令和 2 年 (2020) 年 6 月 1 5 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング

「われらの生業」

来訪者紹介

渡辺 結様 (大和ハウス工業(株)熊本支社)

会長報告 (坂本研一君)

皆さま、こんにちは。今日も例会参加ありがとうございます。本日の来訪者は大和ハウス工業(株)熊本支社 渡辺 結様です。渡辺様には興梠会員とともに卓話を行っていただきます。後ほどよろしくお願いたします。

まず、期末にもかかわらず嬉しいことに新入会員を迎えることができました。朝日生命 藤野さんの後任でこられたエリート濱崎さんです。藤野さんが楽しさのハードルを上げられましたのでガンバってください、皆さんどうぞよろしくお願いたします。さて、先週の理事会でオハイエくまもと活動支援として 20 万円の承認をいただきました。おおよその用途を報告させていただきます。彼らの中には新型コロナの影響ということを実感できてない子達も多います。「とっておきの音楽祭」の中止、他例年のイベントの中止に対して大きなストレスを抱えてる子達もいるそうです。そこで、以前卓話いただいた阿蘇の吉田しのぶさんのところでオハイエピクニックの費用、10 月末予定の二の丸公園で行う音楽祭費

今日の例会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 常任委員長退任挨拶

今月・来月の行事

7/7 硯川ガバナー公式訪問例会@ホテル日航熊本

7/30 第 1 回熊本市域 RC 会長・幹事会

@ニュースカイホテル

用に有効に使わせていただきますとのお約束をいただきました。皆様ありがとうございました。

また本日は、「現・新年度合同クラブ協議会」を18:30より開催いたします。本来であれば本年度の総括からですが、参加多数にならぬよう次年度メインで行わせていただきます。今年度は花見より中止が相次ぎ年祝いも神事まで、委員会・IMも中止、ローターアクト・インターアクトも中止と異例の年度となってしまう申し訳なく思います。

尚、先週新型コロナから企業での新たな取り組みの発表及びPRをとお願いしましたところ、本日は永井会員と古財会員が壇上に上がっていただけるとのことです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上、第29回目の会長報告とさせていただきます。

出席報告 (田中靖昭君)			
会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
64名	43名	68.25%	85.94%
出席規定適用免除者 1名		欠席記録免除者 1名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

幹事報告 (北口 誠君)

1. 第2720地区 瀧ガバナーより「ガバナー年度最後の報告とメッセージ」が届いております。
2. 姫路南 RC より5月週報が届いております。
3. 本日19:00より(食事18:30～) ホテル日航熊本 5F 天草にて「第4回クラブ協議会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。

例会変更のお知らせ

○西稜 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月22日(月)18:30～

○西 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月23日(火)12:30～

[変更後] 6月23日(火)18:30～

[場 所] ロシア料理 ボルガ

○05福祉 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月23日(火)12:30～

[変更後] 6月23日(火)18:00～

[場 所] 火の国ハイツ

○東南 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 6月24日(水)12:30～

[変更後] 6月24日(水)18:30～

[場 所] 火の国ハイツ

○江南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月24日(水)12:30～

○水前寺公園 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月24日(水)18:30～

○菊南 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月24日(水)12:30～

[変更後] 6月24日(水)未定

[場 所] 未定

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月25日(木)13:00～

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月30日(火)12:30～

○西 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月30日(火)12:30～

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月30日(火)12:30～

○西稜 RC～G 公式訪問例会のため日程変更

[変更前] 7月6日(月)18:30～

[変更後] 7月7日(火)18:30～

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 7月14日(火)12:30～

新入会員自己紹介 1回目 (濱崎剛自君)



氏名：濱崎剛自 (はまさき こうじ) 君

生年月日：昭和49年6月15日

出身：和歌山県

勤務先：朝日生命保険相互会社熊本支社

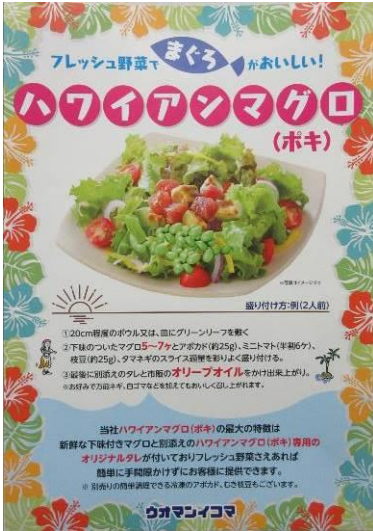
推薦者：坂本研一君・北口 誠君



委員会報告

ございません

◆**ご案内** (永井富士雄君)



◆**ご案内** (古財良一君)



●**スマイルボックス** (田中靖昭君)

○坂本研一君・漆島典和君・北口 誠君・三角雄介君
河津延雄君

濱崎剛自様の入会を歓迎します。また、本日の卓話者興栢会員、大和ハウス工業(株)渡辺様の卓話を楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

○澗田俊郎君・徳永隆正君

濱崎剛自様の入会を歓迎します。また、本日の卓話者興栢一喜会員と渡辺 結様に心から感謝いたします。

○木下貴夫君

大和ハウス工業(株)興栢一喜会員、渡辺所長の卓話、心より感謝します。期待しています！これからも西部ガスをよろしくお願いいたします。

●**会員卓話** (坂本幸樹君)

「新入会員卓話」

興栢一喜君・渡辺 結様 (大和ハウス工業(株)熊本支社)



【例会予定】

- 6/29 (月) 会長・副会長・幹事退任挨拶
- 7/7 (火) 硯川昭一ガバナーアドレス
- 7/13 (月) 会長・副会長・幹事就任挨拶
- 7/20 (月) 常任委員長就任挨拶
- 7/27 (月) クラブ協議会①

■RI ニュース (国際ロータリーHP より)

「世界は今、かつてないほどロータリーを必要としています」



ケニアのナイロビでは市民の80%近くが無認可居住区で生活しています。そこでは、日雇い労働者ら複数の世帯が一つ屋根の下で暮らす光景も珍しくありません。店員や建設作業員、家庭内労働者として稼いだわずかなお金で日々を生き抜くこれらの人たちは、狭い空間で8人もの人が料理や宿題、食事、睡眠といった生活を共にしています。経済的に余裕のない多くのケニア人にとって、ソーシャルディスタンス（人との距離を空けること）は、言わば「ぜいたく」です。「北米などで発生している新型コロナウイルスの大流行がケニアでも起これば、悲惨な結果となるでしょう」。ソーシャルディスタンスの難しさを指摘しつつ、こう語るのは、ムサイガ・ロータリークラブ会員のギータ・マネクさん（ロータリー財団管理委員エレクト）です。「予防策を徹底し、ウイルスに感染しないよう必至にがんばっています」世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）を宣言した直後、ロータリー第9212地区（エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン）ガバナーのジョー・オティンさんは、全地区にまたがる対策チームを立ち上げました。ナイロビ・イースト・ロータリークラブのジョー・カマウさんがリーダーを務めるこのチームは、地区内のクラブと連携し、手洗い場の設置、職を失った世帯への食事の支援に加え、人びとに配布する防護具を購入するためのファンドレイジング（資金調達）を行いました。「まず何から始めようか、とカマウさんが尋ねたので、手洗い場の設置から始めようと答えました」。対策チームメンバーのマネクさんは

こう回想します。マネクさんは、エチオピアとケニアでファンドレイジングの先頭に立ち、20日間で21,000万ドル以上を調達。さらに、集まった寄付に対してケニアのプライム銀行が同額を上乗せして拠出することを申し出ました。チームはこの資金で水タンク100台購入し、さらにタンク納入業者からも追加100台の寄付を確保しました。金属製の台に設置されたこの水タンクは100リットルを貯水でき、下部には真ちゅう製の蛇口が取り付けられ、せっけん置きも備えています。対策チームはこの手洗い場をキリフィ、モンバサ、ナイロビの各所に設置し、現在は国家衛生局と協力して次の支援地を絞り込んでいます。現在、トラックでタンクの交換をしていますが、当局は配管して水を補給する方法を検討しています。ロータリアンと共に奉仕プロジェクトに参加する市民から成るグループ「ロータリー地域社会共同隊」は、現地の人びとに効果的な手洗いの方法を教えながら、人びとが手洗いのために戻ってくる回数などのデータも収集。また、ケニア都市部のスラム街で少女や女性の支援、擁護、教育に取り組む市民団体「Shofco」とも連携し、手洗い場の監督を行っています。さらに対策チームは、手洗い場に来た人びとから、食料が不足している家庭に関する情報を集めています。在宅勤務命令が出されたことにより、日雇い労働者たちは生計を立てられなくなっているとマネクさんは指摘します。そこでクラブは、日雇い労働者らに砂糖、トウモロコシの粉、米、平豆、塩、石鹼などが入ったパッケージを配布しています。

一方、最前線で闘う医療従事者に配布される防護具の入手は、さらに困難になりつつあります。納品業者や寄付団体に掛けあい、医療用マスクとガウンを確保しようと試みているものの、入手できる数は限られており、またそのほとんどが空輸のため、非常に高く付くとマネクさんは言います。この危機においてプラスの要素があるとするれば、ロータリアンの熱意の高まりによって他団体からの注目が集まっていることが挙げられます。「ロータリアンはいつでも真っ先に現場で活動してきました」とマネクさん。「ロータリーの活動を知り、協力したいと考えている銀行や保険会社など、企業からも協力の申し出が来ています」